



いのち支える



いのち支える自殺対策推進センター ニュースレター 第37号 (2024.11.06)



いのち支える自殺対策推進センター (JSCP) のニュースレターにご登録いただき、ありがとうございます。本号では、「こどもの自殺」を特集として取り上げた「令和6年版 自殺対策白書」や、地域連携のカギとなる「地域自殺対策推進センター」の対面開催でのブロック会議、革新的自殺研究推進プログラムの成果や進捗状況を報告する「自殺対策推進レアル」、こども・若者への啓発活動として広がる「#逃げ活」の様子などについて紹介。職員インタビュー（西尾隆・調査研究推進部長）も掲載しています。

※このメールは、本ニュースレターの配信をご希望された方や、当団体の活動を通して、ご連絡先を頂戴した方に送信しています。今後メールの受信をご希望されない方は、お手数をおかけしますが、[こちら](#)から配信停止手続きをお願いいたします。

<ニュースレター第37号トピックス>

1. 【閣議決定】「令和6年版 自殺対策白書」を公表
2. 【開催レポート】令和6年度 地域自殺対策推進センターブロック会議を開催
3. 【開催レポート】自殺対策推進レアルを開催
4. 【登壇報告】日本看護学会学術集会での教育講演
5. 【こども・若者】啓発活動「#逃げ活」開催報告 続々
6. 【関連情報】日本自殺総合対策学会「秋季講演会」の参加申し込みを受付中
7. 【JSCP職員インタビュー】調査研究推進部長 西尾 隆

1. 【閣議決定】「令和6年版 自殺対策白書」を公表

政府は2024年10月29日、「令和6年版 自殺対策白書」を閣議決定し、公表しました。「自殺対策白書」は自殺対策基本法第11条に基づき、毎年国会に提出される年次報告書で、自殺の現状や自殺対策の実施状況が取りまとめられています。

2023年の動向を記した今回の白書では、前年と同様に深刻な状況が続く「こどもの自殺」について、特集（第2章）として詳細な分析や対策などを紹介しているのが大きな特徴です。その中で、日本臨床救急医学会とJSCPが運用する「[自傷・自殺未遂レジストリ](#)」（*）の取り組みや、こども家庭庁の委託事業としてJSCPが実施した「[こどもの自殺の多角的な要因分析に関する調査研究](#)」が取り上げられています。

*自傷・自殺未遂レジストリ (JAPAN Registry of Self-harm and Suicide Attempts/JA-RSA) …救急救命センターを対象とした自傷・自殺未遂者の登録システム。2022年12月に運用を開始。

■「令和6年版 自殺対策白書」は、[厚生労働省のホームページ](#)に掲載されています

2. 【開催レポート】令和6年度 地域自殺対策推進センターブロック会議を開催

JSCPは毎年度、各都道府県・政令指定都市に設置されている地域自殺対策推進センター（以下、「地域センター」）を対象に、全国を6ブロック（北海道・東北、関東、中部・北陸、近畿、中国・四国、九州・沖縄）に分けて、ブロック会議を開催しています。地域センターは、自殺対策を地域づくりとして総合的に推進する役割を担う機関で、自殺対策の「エリアマネージャー」として管内市区町村の地域自殺対策推進計画にかかわる支援などを行っています。



九州・沖縄ブロックでの様子



関東ブロックでの様子

この会議では、地域センターが、管内の市区町村など地域の支援者を支援する際に直面する課題や具体的な取り組みの情報などを共有し、意見交換を行っています。毎年度秋頃に開催しているものですが、今年度は2024年8月28日から10月15日にかけて、コロナ禍以降初めての対面集合形式で実施しました。

■詳細は [開催レポート](#) をご覧ください

3. 【開催レポート】「自殺対策推進レアル（令和5年度委託研究成果報告会）」を開催

JSCPは、2024年9月2日・11日・20日の3日間にわたり、革新的自殺研究推進プログラム「自殺対策推進レアル（令和5年度委託研究「中間・最終成果報告会）」をオンラインで開催しました。

「革新的自殺研究推進プログラム」は、科学的根拠（エビデンス）に基づいた政策立案及び社会還元に資する研究を推進するため、自殺対策関連分野の研究者等への公募による委託研究を行うものです。研究成果をより広く還元し地域での自殺対策の実践に生かしていくことを目的に、2023（令和5）年度に取り組んだ3つの領域に関する16の研究課題の成果報告会を実施。自殺対策の現場を担う地方自治体の自殺対策担当者や自殺対策関連学会に所属する方々を対象に参加者を募り、延べ約650人（領域1：約260人、領域2：約240人、領域3：約150人）の方にご参加いただきました。

■詳細は [開催レポート](#) をご覧ください



領域1：佐々木剛座長



領域2：藤森麻衣子座長



領域3：久保順也座長

4. 【登壇報告】日本看護学会学術集会での教育講演

2024年9月27日、熊本市で開催された「第55回日本看護学会学術集会」において、JSCP代表理事の清水康之が教育講演を行いました。テーマは「『誰も自殺に追い込まれることのない』生き心地のよい社会」の実現を目指して」。講演の中で清水は、日本の自殺の現状や、自殺対策基本法の目的・理念などを紹介するとともに、看護師に期待される役割についても説明しました。具体的には、「自殺念慮者・自殺未遂者・自死遺族等への支援」や「地域自殺対策への、より積極的な関与」、「『患部』ではなく『人』に寄り添った対応」や「自身を含む支援者への支援」などで、参加者からの質問も多く寄せられました。

5. 【こども・若者】啓発活動「#逃げ活」開催報告 続々

JSCPは今夏、「生きる」ための手段として「逃げる」ことの大切さをこども・若者に考えてもらう・知ってもらう、参加型の啓発活動「#逃げ活 ～こころの逃げ場、ここにあるよ～」を企画しました。

これまでに、高等学校・大学といった教育機関をはじめ、地域の支援センター、市役所など幅広い場所で開催いただき、メディアにも多数取り上げられました。

#逃げ活の開催者や参加者からは、「参加しやすい」「気持ちを吐き出す機会になった」といった感想のほか、開催するうえでのアイデアや工夫などが寄せられています。参考情報として開催事例をホームページで公開・随時更新していますので、ぜひご覧ください。

#逃げ活 ~学生団体My Own Place~

開催場所
湘南台MOP HOME~寺子屋~

開催日
2024年7月27日(土)
2024年9月14日(土)

感想
【一般参加者】
「生きるために逃げていい」「逃げることはいいでとではない」という考えに触れるきっかけになってほしいと思いつけました。この活動が、知られてしまいがちな立場にあるこどもにとって、当事者からの逃げ場になってほしいと思います。

#逃げ活 ~特定非営利活動法人BONDプロジェクト~

開催場所
BONDプロジェクト

開催日
2024年8月12日(月)から
2024年9月16日(月)

感想
【一般参加者】
約1か月間掲示したことで、他の人の書き込みを読みつつ、自分の目を気にしないで自分の中の「逃げたい」気持ちをじっくり考える時間になったと感じました。今後、ストレスや困難に追い込まれる前に「逃げる」「逃げてほしい」ことが大事であることを思い出し、出してもらえる機会になってほしいと思います。

JSCPは引き続き、開催にあたって必要となるツールキットを無料で提供していますので（ダウンロード形式）、ぜひご活用ください。また、#逃げ活をより良いものへ発展させていくため、利用報告にあわせて、ご意見やご要望・ご提案などもお寄せいただければ幸いです。

■ 「#逃げ活 ～こころの逃げ場、ここにあるよ～」のページは [こちら](#) から

■ 開催事例の掲載ページは [こちら](#)

6. 【関連情報】日本自殺総合対策学会「2024年秋季講演会～“家族という困難”を考える～」の参加申し込みを受け付け中

日本自殺総合対策学会は、2024年11月27日（水）に「2024年秋季講演会～“家族という困難”を考える～」をオンラインで開催します（共催：情報・システム研究機構 統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター（予定）、後援：厚生労働省・JSCP）。

当日は、精神科医の田村毅氏（田村毅こころの診療所・相談室所長）が「家族葛藤と自殺：精神医療の現場から」のテーマで、また福本啓介氏（社会福祉法人白十字会林間学校 あすなろサポートステーション所長）は「社会的養育のもとで育ったこども・若者の18歳以降サポートの現場から（仮）」と題してお話しいたします。全体のコーディネーターを岡檀氏（統計数理研究所 医療健康データ科学研究センター特任准教授、日本自殺総合対策学会理事）が務め、講演の後には、講演者に2人のコメンテーター（森丈弓氏（甲南女子大学人間科学部心理学科教授）、渡辺ゆりか氏（一般社団法人草の根ささえあいプロジェクト代表理事））が加わり、ディスカッションを実施します。

詳細および参加申し込みの方法については、日本自殺総合対策学会の案内ページをご確認ください。学会員のほか、自殺対策に関心のあるすべての方にご参加いただけます（参加費は無料）。申し込み期限は2024年11月24日（日）です。

■詳細および参加申し込みは [こちら](#) から

7. 【JSCP職員インタビュー】 調査研究推進部長 西尾 隆

「内外の調査研究ニーズに応え、『現場』と『研究』と『政策』の連動を図る」

JSCPニュースレターではJSCPの取り組みについてより深く知っていただくため、「職員インタビュー」を随時掲載しています。今回は、調査研究推進部長・西尾隆です。



<プロフィール>

西尾 隆（にしお・たかし）

広島県出身。1986年国際基督教大学（ICU）大学院修了（学術博士）。その後ICUで行政学・地方自治論などを教え、2023年退職。この間、プリンストン大、ロンドン大客員研究員、参議院客員調査員、放送大客員教授などを兼任。研究テーマは官僚制の歴史、公務員制度、地方分権、まちづくりなど。

参議院では、国会による行政統制について海外オンブズマン制度などを調査、提案が行政監視委員会の設置につながった。著書に『公務員制』『日本森林行政史の研究』、編著に『現代の行政と公共政策』ほか。2022年6月にJSCPに入職し、調査研究推進部長（非常勤）に。座右の銘は「平凡な道を非凡に歩む」。

■インタビュー全文は [こちら](#) をご覧ください

■YouTubeの「JSCP_広報室」チャンネルで、研修動画等を順次公開中

<https://www.youtube.com/channel/UCNWP2O5zTuul-j8GITeKzHQ>

■Yahoo!ニュースエキスパートで、JSCPとして自殺問題・自殺対策に関する記事を配信しています（JSCP広報室長・山寺が執筆）

<https://news.yahoo.co.jp/expert/authors/yamaderakaoru>

今後も、JSCPをどうぞよろしくお願いいたします。

なお、配信停止をご希望の場合には、以下のページから、お手続きをお願いいたします。

<https://jscp.or.jp/newsletter/>

厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター（JSCP）

広報室 news@jscp.or.jp



<https://www.facebook.com/JSCP.press>



https://twitter.com/JSCP_press

https://twitter.com/JSCP_www